



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	26,709	3.3	2,111	37.6	4,450	33.9	2,917	40.7
29年3月期第1四半期	25,860	4.4	1,534	18.4	3,323	7.2	2,073	8.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,263百万円 (58.6%) 29年3月期第1四半期 2,057百万円 (△8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	109.27	—
29年3月期第1四半期	77.66	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	120,549	85,209	64.7	2,920.31
29年3月期	121,549	83,682	63.1	2,872.96

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 77,981百万円 29年3月期 76,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	65.00	—
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、平成29年3月期の年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は100円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	51,000	△0.5	2,800	25.5	6,600	13.8	4,300	18.3	161.03
通期	108,000	4.7	5,200	△0.3	12,500	0.0	8,000	6.9	299.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	28,333,480株	29年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,630,341株	29年3月期	1,630,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	26,703,181株	29年3月期1Q	26,704,995株

（注）当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となり、個人消費につきましても、力強さには欠けるものの一定の改善が見られました。また、米国経済の堅調な推移や中国の景気減速底打ちの兆しなど、海外経済の展望も持ち直しの傾向にあります。引き続き米国の政策動向や英国の欧州連合（EU）離脱問題など、状況変化を注視していく必要があります。

このような状況の中、当社グループは第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase 3（三井製糖2022への道）」（2016年4月～2018年3月）の達成に向け、各施策の実行に鋭意取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は16セント後半でスタートしたのち、ブラジルの好調な圧搾状況を受けて一時15セント前半まで下落し、更に5月後半の需給緩和観測により、相場は一気に急落いたしました。その後も原油をはじめとする国際商品市況低迷の流れに追随して下落を続け、13セント半ばで当第1四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では適切な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、燃料費の上昇を受け前年同期比で製造変動費が微増となりましたが、産地毎の原料糖の品質に合わせた適切な工程制御を行い、安定的な操業に努めました。

販売面では、好天を受けて飲料などの大手ユーザー向けの販売が順調に推移しましたが、家庭用につきましては、店頭販売価格の上昇や、海外粗糖相場の急落による先安感などから低調な動きとなり、全体の販売量は前年同期を下回りました。また、原料仕入れコストの下落に対応し、6月末に出荷価格の引き下げを発表いたしました。

連結子会社では、北海道糖業(株)は販売量減少により減益となったものの、生和糖業(株)は好調に推移いたしました。以上の結果、砂糖事業全体で、売上高21,315百万円、営業利益1,580百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて195円～196円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 16.93セント 高値 17.18セント 安値 12.53セント 終値 13.68セント

(フードサイエンス事業)

パラチノース、パラチニットの販売量は概ね前年並みで推移しましたが、販売費及び一般管理費が減少したため営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスで販売が順調であったほか、ニュートリー(株)は、当期首に行った事業譲受により規模が拡大し、増収増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高4,913百万円、営業利益310百万円となりました。

なお、当社は、平成29年7月31日開催の取締役会において、食品添加物事業における一層の基盤強化と効率的運営、及びグループとしての全体最適を図るため、連結子会社の(株)タイショーテクノスに工場を新設し食品添加物の生産を集約することを決議いたしました。これにより当社長田工場は平成31年2月末をもって生産を終了することになります。本日別途開示しております「連結子会社への食品添加物生産集約に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

(不動産事業)

前期に岡山市で竣工した物流センターの賃貸並びにメガソーラー発電が安定的に稼働し、売上高480百万円、営業利益219百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,709百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は2,111百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,647百万円、持分法による投資利益592百万円を計上したことなどから、経常利益4,450百万円（前年同期比33.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,917百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比999百万円減少し120,549百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比854百万円減少し49,353百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加402百万円等があった一方で、商品及び製品の減少1,563百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比145百万円減少し71,195百万円となりました。これは主として、投資有価証券の増加745百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少499百万円、建物及び構築物の減少246百万円、のれんの減少167百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比2,525百万円減少し35,340百万円となりました。これは主として、借入金の減少2,702百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,526百万円増加し85,209百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益2,917百万円、剰余金の配当1,735百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表の通りであり変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,072	20,952
受取手形及び売掛金	8,447	8,850
商品及び製品	13,493	11,929
仕掛品	1,891	1,632
原材料及び貯蔵品	4,111	4,318
繰延税金資産	555	570
その他	2,671	1,134
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	50,207	49,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,976	36,628
減価償却累計額	△22,483	△22,381
建物及び構築物(純額)	14,493	14,247
機械装置及び運搬具	76,484	76,649
減価償却累計額	△61,230	△61,895
機械装置及び運搬具(純額)	15,253	14,754
工具、器具及び備品	2,426	2,452
減価償却累計額	△2,035	△2,064
工具、器具及び備品(純額)	391	388
土地	18,436	18,436
リース資産	893	889
減価償却累計額	△310	△330
リース資産(純額)	582	559
建設仮勘定	97	156
有形固定資産合計	49,255	48,542
無形固定資産		
のれん	1,852	1,685
その他	761	726
無形固定資産合計	2,614	2,411
投資その他の資産		
投資有価証券	11,690	12,435
長期貸付金	24	26
退職給付に係る資産	550	557
繰延税金資産	690	688
その他	6,540	6,558
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	19,471	20,241
固定資産合計	71,341	71,195
資産合計	121,549	120,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,114	4,898
短期借入金	4,070	1,670
1年内返済予定の長期借入金	1,213	1,167
リース債務	93	122
未払費用	2,860	2,597
未払法人税等	1,686	1,328
役員賞与引当金	64	17
その他	2,586	3,541
流動負債合計	17,689	15,343
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,604	2,347
リース債務	517	460
繰延税金負債	1,757	1,867
役員退職慰労引当金	223	232
退職給付に係る負債	3,182	3,223
資産除去債務	408	409
その他	1,482	1,455
固定負債合計	20,176	19,997
負債合計	37,866	35,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	70,123	71,305
自己株式	△2,905	△2,905
株主資本合計	75,592	76,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	978
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	59	86
退職給付に係る調整累計額	134	139
その他の包括利益累計額合計	1,124	1,206
非支配株主持分	6,965	7,227
純資産合計	83,682	85,209
負債純資産合計	121,549	120,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	25,860	26,709
売上原価	19,458	19,869
売上総利益	6,401	6,839
販売費及び一般管理費		
配送費	1,256	1,149
役員賞与引当金繰入額	13	16
退職給付費用	60	49
その他	3,537	3,513
販売費及び一般管理費合計	4,867	4,728
営業利益	1,534	2,111
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	105	75
受取ロイヤリティー	1,630	1,647
持分法による投資利益	103	592
雑収入	39	86
営業外収益合計	1,879	2,402
営業外費用		
支払利息	25	20
固定資産除却損	11	11
設備撤去費	8	18
雑損失	44	13
営業外費用合計	90	63
経常利益	3,323	4,450
特別利益		
補助金収入	8	—
負ののれん発生益	—	24
特別利益合計	8	24
特別損失		
減損損失	50	—
固定資産圧縮損	1	0
特別損失合計	51	0
税金等調整前四半期純利益	3,280	4,473
法人税、住民税及び事業税	939	1,268
法人税等調整額	77	27
法人税等合計	1,017	1,296
四半期純利益	2,262	3,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	259
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,073	2,917

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	2,262	3,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	58
繰延ヘッジ損益	△5	△2
退職給付に係る調整額	7	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△224	26
その他の包括利益合計	△204	86
四半期包括利益	2,057	3,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,873	3,000
非支配株主に係る四半期包括利益	184	263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,821	3,709	329	25,860	—	25,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	36	10	54	△54	—
計	21,829	3,745	339	25,915	△54	25,860
セグメント利益	1,277	86	170	1,534	—	1,534

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,315	4,913	480	26,709	—	26,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	34	10	61	△61	—
計	21,332	4,947	490	26,770	△61	26,709
セグメント利益	1,580	310	219	2,111	—	2,111

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。